



こまえをこぼげる こまごなNEWS

Vol.21
2019年03月20日
発行号

発行:責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
狛江で分かりやすい
政治を伝える会



真っ白な木蓮が

咲き誇る日は、この世で一番きれいな歌声を聴く日です。

♪ 今あ 別れるとき 飛び立とう 未来信じて
弾む若い力信じて
このひろい このひろい 大空に

その凜としたハーモニーは、
私のまぶたの奥と、鼻の下を**真っ赤**にしています。

巣立っていくみんな、負けるな 咲き誇れ、
もしも、凹んだら狛江のまちが待ってるよ。卒業おめでとう。

完全無所属の市議会議員 三宅まこと

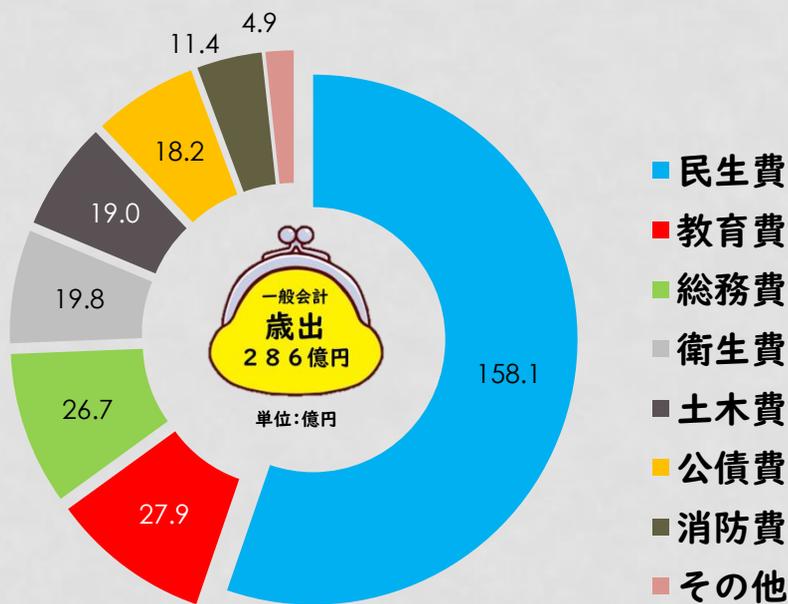
狛江市・小中学校の卒業式
小学校は3月22日(金)
中学校は3月20日(水)



新年度、狛江市の一般会計予算案概要をいち早くお知らせいたします。

予算には「歳入・歳出」があります。昨年のこまつなでは「歳入」のご説明をしたので今年度は「歳出」のお話を致します。**歳出286億円**の使い道に関して、**市民の皆様のお財布に見立て、その主なものをご説明させていただきます。**

H31年度一般会計当初予算歳出目的別構成比



(円グラフの青色部分)

福祉関連予算(民生費)は増え続けています

狛江市予算で半分以上占めるのが福祉予算全般です。平成26年度比で30%増の158.1億円となりました。構成として障がい者や高齢者の福祉費用にも充てられていますが、児童福祉費のウエイトも高まってきました。消費税とセットの「幼児教育無償化」(本年10月スタート)関連は、今回の一般会計当初予算では計上されず、国から制度詳細が開示された後に補正予算で対応するという事です。狛江市の事業としては、子育て・教育支援複合施設の新築工事や、新設保育所開設等による保育定員拡大に伴う保育所等児童運営費の他、震災に備えた沿道建築物耐震化、野川地域センター改修工事等により対前年度比8.2億円プラス、5.5%増となりました。

(円グラフの赤色部分)

教育関係予算は民生費の影響で微減となりました。

教育費は、予算構成で2番目の27.9億円となっていますが、民生費の大幅な伸びを受けて微減傾向です。狛江市の事業としては、第一小学校屋内運動場空調設備整備工事があるものの、平成29年度より実施の西河原公民館改修工事や第一小学校児童数増に伴う給食室増築等工事の終了等により対前年度比1.4億円マイナス、4.8%減です。

仮にお年寄りから赤ちゃんまで含めて市民一人当たりの予算を見ると

一般会計・当初予算額286億円を市民1人あたりで計算すると予算額は347,000円になります。そのうちの構成比を見ると最も高い民生費が192,000円となります。【人口:82,481人 平成31年1月1日現在】

民生費

192,000円



社会福祉や高齢者福祉、児童福祉などに関する経費

教育費

34,000円



学校教育や文化・スポーツ振興などの社会教育に関する経費

総務費

32,000円



総務管理、税務、戸籍、選挙、統計などに関する経費

衛生費

24,000円



予防接種や健康診査などの保健衛生や清掃に関する経費

土木費

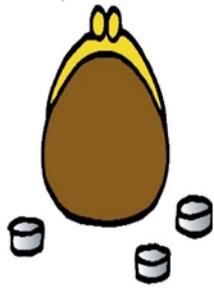
23,000円



道路や公園などの整備や維持管理に関する経費

公債費

22,000円



借り入れた市債の返済に関する経費

消防費

14,000円



消防や災害対策などに関する経費

その他支出

6,000円



議会運営や商工農業振興、消費者行政などに関する経費